

変化の激しい社会を生き抜いていく 子供たちの姿や思いに迫る

～今日的な教育課題に視点を当てて～

指定都市教育研究所連盟の共同研究とは？

全国20の指定都市の教育研究所・教育センターで構成される指定都市教育研究所連盟は、指定都市に住む子供の実態把握を通して、教育の今日的課題を解明し、学校・家庭・地域社会における教育の在り方について提言してきました。

昭和38年から基本的に3か年を1次として研究し、今回で18次となる共同研究です。

第18次共同研究では、平成28年度に19※指定都市の小学校4年生、6年生、中学校2年生、約3万人を対象として実施した質問紙調査をもとに、経年変化にも着目し、成果と課題をまとめました。

※平成28年4月に発生した熊本地震の影響により、熊本市については実施していない。

①家族からの称賛は、自己肯定感を高め、自己の可能性を信じることに繋がります。

〈設問 8〉あなたは、家の人から「がんばったね。」とか「よくやったね。」など、ほめられることがありますか。

〈設問48〉あなたは、学校の学習の中で、今は苦手なものでも、努力したらできるようになると思えますか。(%)

設問8 \ 設問48	できるようになると思う	どちらかといえば、できるようになると思う	どちらかといえば、できるようになると思わない	できるようになると思わない
よくある	72.6	21.7	4.1	1.7
ときどきある	50.8	37.5	8.8	2.9
あまりない	39.5	36.5	16.3	7.6
まったくない	33.6	27.1	17.1	22.2



家の人からほめられることが「よくある」と回答した子供の94.3%が、学校の学習の中で、今は苦手なものでも、「できるようになると思う」「どちらかといえば、できるようになると思う」と肯定的な回答をしています。家族からの称賛が、子供の自己肯定感を高め、自己の可能性を信じることに繋がります。

②学んだことを生かす場を提供することが、子供の自己有用感を高めることに繋がります。

〈設問25〉あなたは、学校以外での勉強や習いごとで学んだことが誰かの役に立ったと思うときがありますか。

〈設問37〉あなたは、学校生活の中で、誰かの役に立ったと思うときがありますか。(%)

設問25 \ 設問37	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない
よくある	48.8	40.1	8.5	2.6
ときどきある	17.7	62.0	18.1	2.3
あまりない	9.0	48.5	37.2	5.3
まったくない	7.2	25.0	41.0	26.8
機会がないからわからない	10.4	35.9	35.1	18.6



学校以外での学習によって育まれる自己有用感の高い子供は、学校生活の中でも自己有用感が高い傾向がみられます。

子どもの自己有用感を高めるために、学校・家庭・地域社会が連携して、誰もが学ぶことのできる機会や学んだことを生かす場を提供していきましょう。



③学校における生活・学習意識の高まりが見られます。

設問	H19	H22	H25	H28
学校生活が楽しいですか。	51.0	53.8	57.4	60.1
学校の授業がわかりますか。	35.5	35.8	47.6	52.9
学校の授業が楽しいですか。	25.6	27.2	31.6	40.2
授業中、学習に進んで取り組んでいると思いますか。	18.6	21.6	28.3	38.4

※数値は、最も肯定的な回答の割合（％）



過去のデータと比べると、「学校の授業がわかる、楽しい」と感じている子供が増えていることがわかります。



主体的に学ぼうとする意識も高まっています。子供の主体性を生かした学習を展開していきましょう。

④授業を工夫してわかりやすく教えると、子供の授業に対する満足度が高まります。

<設問42>あなたは、先生が、工夫してわかりやすく教えていると思いますか。

<設問40>あなたは、学校の授業が楽しいですか。

(%)

設問42 \ 設問40	楽しい	どちらかといえば、楽しい	どちらかといえば、楽しくない	楽しくない
教えていると思う	56.4	34.2	6.8	2.6
どちらかといえば、教えていると思う	18.2	49.9	23.6	8.3
どちらかといえば、教えていると思わない	8.5	25.8	40.7	25.0
教えていると思わない	7.2	12.5	18.8	61.5

教師が「工夫してわかりやすく教えていると思う」と回答した子供の90.6%が、授業が「楽しい」「どちらかといえば、楽しい」と肯定的な回答をしています。教師の授業での工夫が、子供の授業に対する満足度を高めます。



調査結果は次のように活用できます！

<学校では>

- 校内研修の資料として
- 学校説明会や保護者会等での提供資料として
- 独自のアンケート調査を実施する際に、調査項目の作成や結果分析の参考資料として

<家庭では>

- PTAの研修会等における生活習慣・学習習慣に関する話題として

<地域では>

- 市民講座や講演、自治会、老人クラブ等、市民からの要請に基づく出前講座等の資料として



全国20指定都市の指定都市教育研究所連盟

札幌市教育センター、仙台市教育センター、さいたま市立教育研究所、千葉市教育センター、川崎市総合教育センター、横浜市教育センター、相模原市立総合学習センター、新潟市立総合教育センター、静岡市教育センター、浜松市教育センター、名古屋市教育センター、京都市総合教育センター、大阪市教育センター、堺市教育センター、神戸市総合教育センター、岡山市教育研究研修センター、広島市教育センター、北九州市立教育センター、福岡市教育センター、熊本市教育センター

詳細につきましては、各指定都市教育研究所（教育研究所・教育センター）にお問い合わせください。